

副腎静脈サンプリング検査を受けられる患者さんへ

様

この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態や治療の経過等により、予定が変更になったり入院期間が前後することがありますのでご了承ください。わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

担当医

説明看護師

月日	/		/		/	
経過	入院日	検査前日	検査前	検査後	検査後1日目	退院日
目標	検査に臨む準備ができる。			検査の合併症（出血、神経障害）がない。 検査後の安静を守ることができる。	退院後の生活の注意点を知っている。	
処置	必要に応じて、検査で針を刺す右ももつけ根部分を除毛します。 足の甲の動脈に印をつけます。			検査で刺した部位は、止血のため強く圧迫して固定します。 自分で固定をはずさないでください。	検査で刺した部位から出血がないことを再度確認します。 	
点滴			検査前から点滴を開始します。 	安静が解除されたら、点滴は終了です。		
お薬	普段飲んでいるお薬を確認させていただき、引き続き内服が必要なものを飲んでいただきます。					
検査			検査は午後からです。検査時刻の1時間前には病室にいるようにしてください。 検査衣に着替えて、歩いて検査室に向かいます。			
食事	制限はありません。		検査に備え、昼食は食べられません。 水分は摂取可能です。	安静が解除されるまでは飲食は控えてください。	普段通り飲食して問題ありません。	
活動安静度	制限はありません。			ベッドで病室に戻ります。 検査後2時間はベッド上で寝たまま安静にしてください。 検査で刺した部分からの出血がないことを確認して、医師の許可が出れば歩行できます。	制限はありませんが、激しい運動は控えましょう。	
排泄			安静時間中はトイレに行くことができます。 不安な方は、尿管を入れます。	安静中に排泄をしたい場合は、看護師の介助のもとベッド上で排泄してもらいます。 尿管が入っている方は、安静が解除された後に管を抜きます。		
清潔	シャワー浴		検査日はシャワー浴はできません。			退院後翌日から入浴可能です。検査した部位は強くこすらないようにしてください。
説明指導	看護師から入院生活の決まりごとや検査予定について説明します。			痛みやしびれ、気分が悪い時などは、我慢せずに看護師にお伝えください。 	退院の書類や診察券、次回の外来診察の予定について説明します。 退院処方がある場合はお渡しします。	
その他	検査の同意書を提出してください。 外来で同意書を記入していない場合は、入院後に医師から説明します。					

済生会横浜市東部病院 糖尿病内分泌センター 2017年8月15日改訂



検査部位の周辺に内出血がみられることがありますが、徐々に消えていきます。
退院後、検査部位が赤く腫れたり、痛みが出るなどの症状があれば、外来にご連絡ください。